保元物語

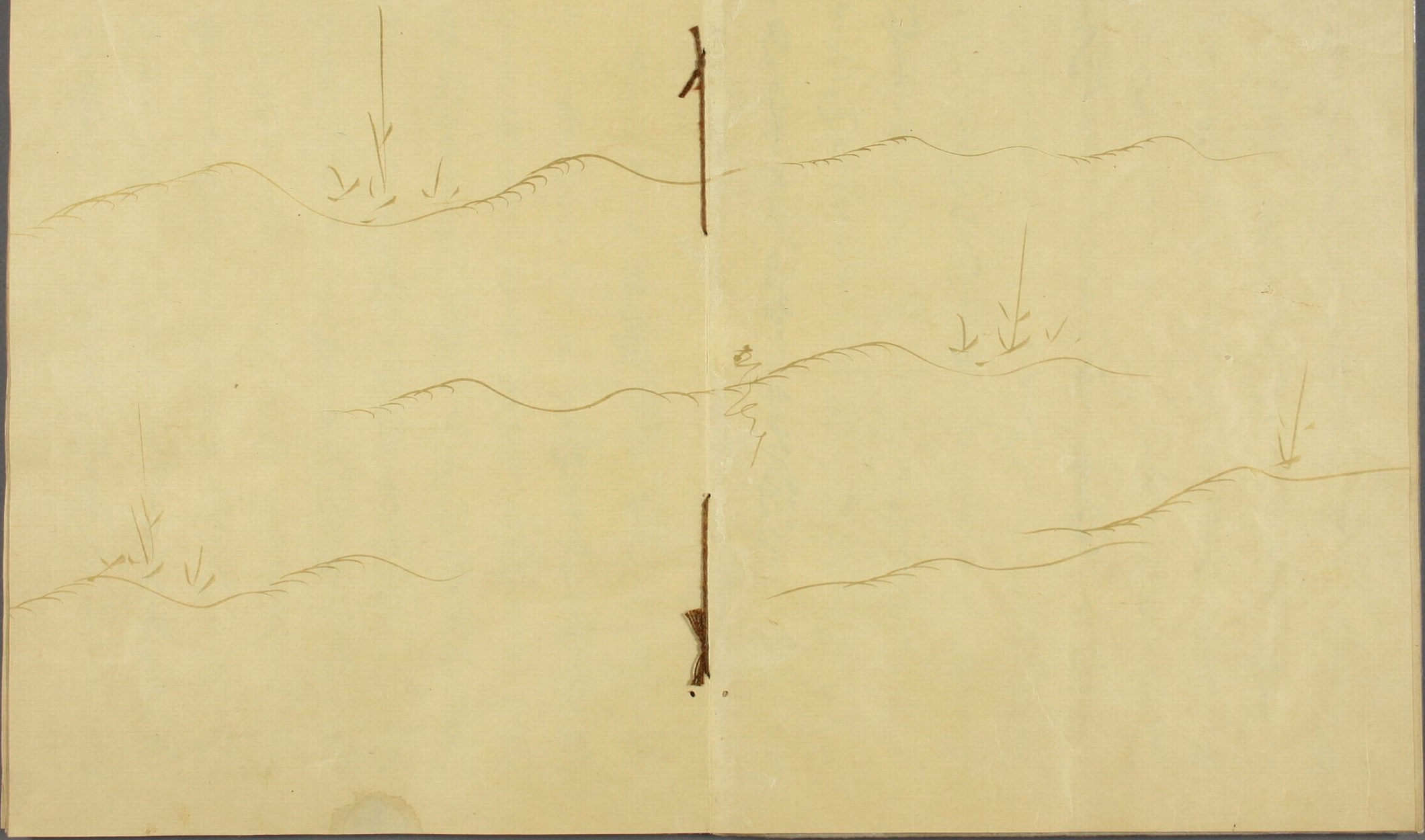
三

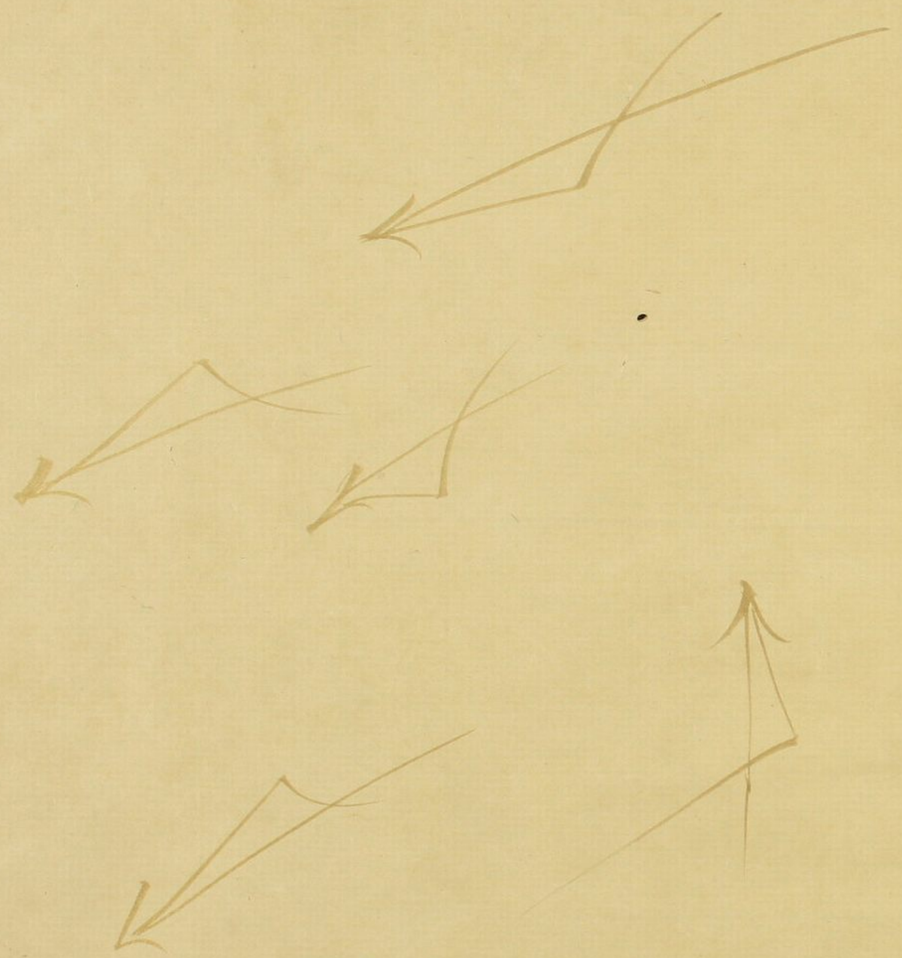
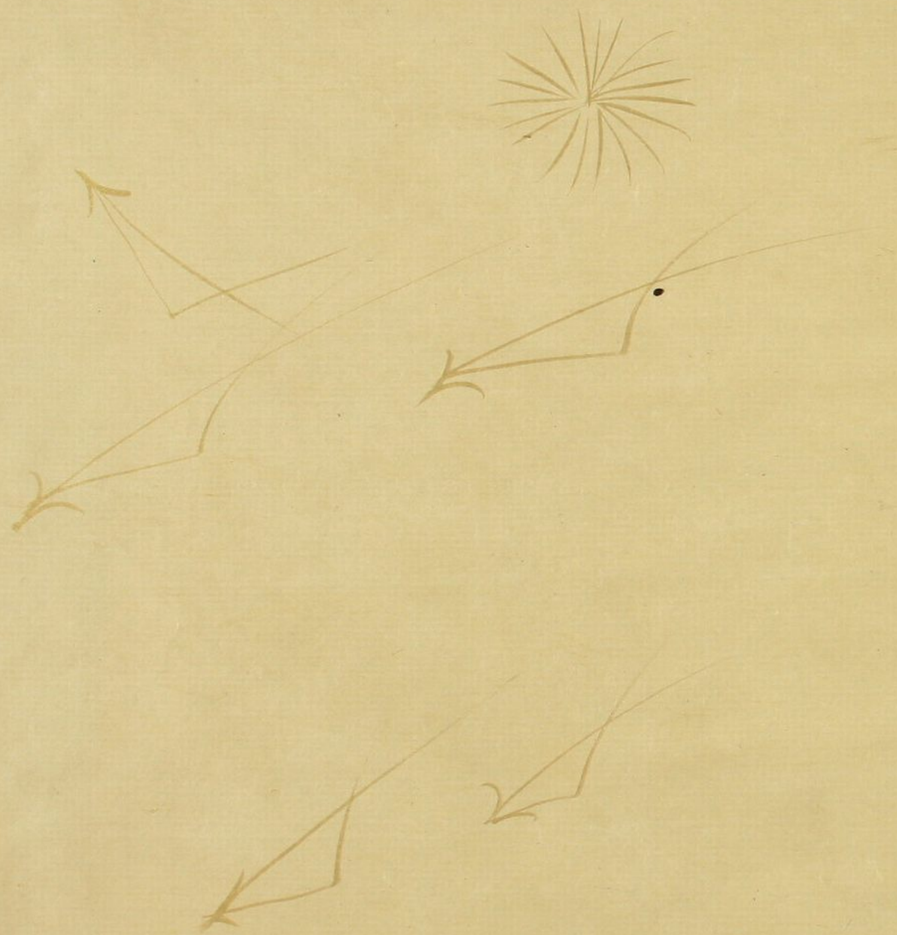
保元物語巻第三目録

白川殿乃よし物取ゝ紙よしせらるゝ事
さゝ河殿とさゝめおしすゝる
新院左大臣殿相紙まゝふ事
新院御出家乃る

曜文庫

白河殿と義朝



海いてせくる男なりけるのゆへハ伊勢国
とくか山乃かくゐこのちやうけん小野七郎
とかくめくゐくしやうらんのさんしを
かくゐりしかきつかうしてらく乃
いる矢くりかくぬかゆらんせよそくよ
川川ゐいて辺とも ゐめとも ちも辺を
事ともさすあゐかくきことおとへも
かんちうことゝの屋さしよ矢むとり
海いくんくもこゐみよろうハしんしやうの
めんかくえハ後生のかりいてくもせしを

三年竹の神しちのかるとすくしをし
つくしさゐ山馬のおゝ絨とゐたいしかな
七寸めらのまるれの此中にきてのし
ろれあるとうらくさしぬとりゐ
ゐやうとゐるまりさきよしくじかる
伊賀六かしかいさけしといとおしあれ
屋か伊有文かいしきの神ようかいゐ
そこ此ゝり前る六郎ハ屋まハよお此く
さすゝ此り伊有文このやことゐりかすく
大将軍のまへよまりゐハうゆかそしの